の解放により安闘成立せる結果で放は開係山、末子文、孔前開出等 安協條件は左の四項目であると云

り安閣成立せる結果で を十分考慮する 外段の内数、外別日間上 附代在町の幣 円、電豆政府に生

之については宋子文氏、孔書麿一氏は常郷に至るを得たが、右は空一中央軍のため電純館に登載される。、即県は『王郎小郎』と開放音(上版)十六日間盟)宋子文、圏)のは明代石氏を始め南京鑑賞人の、即県は『王郎小郎』と開放音(上版)十六日間盟)宋子文、圏)のは明代石氏を始め南京鑑賞人の、即県は『王郎小郎』と同様に「田小郎」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電純館に登載される」という。「中央軍のため電統領に関すると呼ばれば、「中央軍のため電統領に登載される」という。「中央軍のため電統領に対している。」という。「中央軍のため電統領に対している。」という。「中央軍のため電統領に関すると呼ばれば、「中央軍のため電統領館に登載される」という。「中央軍のため電統領館に関すると呼ばれば、「中央軍のため電統領館に登載される。」という。「中央軍のため電統領館に登載される。」という。「中央軍のため、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央軍のでは、「中央のでは、「中央では、「中のでは、

妥協の經緯

施海線上り西安に向け迎返せしめ

時頃一部急戦分子の抗日アデが行 二十五日夜の南京路に突如午後九 筋介石氏生別度配で離沓してゐる

排日デモ化す 慶祝騒ぎから

武力計伐織行に決し優落な大軍を も政府の基礎製品なるを示し、文

斯介石氏を機性にしても**反説**取の

【上海二十五日間盟】 クリスマス

とし配頭は膨脹に陥った

頭動したため暴動化せんとしたが

配き十七日午後十時十一分部山産

五分京城建平區的歐路兵验域に向副官を帶同一月十一日午前八時十

記事士師服長は牧野参謀、上谷

度氏の意識が何であつたかい不

「あのち。……」 いからない

所介石氏権配さる。結局監督

明。素だ開片中族が癒らんので

大田並に選問題軍病院分院を凝察や野参謀石田副官帶闻馬山、大郷

街頭は混亂に陷る

比較所は認高質問漢を解はれつ、ことは否めなかつた、加ふるに図

たので、このまく事態を選集せし

る「売の豪旅簿を張り繋動性を読があった。 おんとしたので「部員賽職首員は窓」即の ると共に、不改の示威・服野を行は 自 し はれ 『日本人を表せ』の奏歌が道

|| 題記録ぎは、之に泰じて振日デモ | ひ止め縁張者多数を出して添く事|

第1たので、二十六日超 第日に夏知を押して登院 近日・夏田衆議院で選長は二・ で、二十六日超

一十四日召

[上海二十五日間盟] 二十五日夜 は豊富多数を動員してバンドより

込まんとしたので、下部局態祭で ンドを通づて飛人器製品場に流れるの後群衆の流れは富良路からバ

廿二日午後三時廿二分龍山斎脇田

これを慰むるもの精神第一

早くも正月気分で門にしめか

の、國境整備諸战の勞苦寒苦。

階が迫つて先づ想いを取すも

(可認物便郵班三第日十月八年九冊清明)

耀氏

【上海廿五日赤星特派 | マスで発車は海辺を騒ぎを呈して

浩陽に到着した、廿六は南京着のド氏と共に流行使で午後五時川分、 いまに流行使で午後五時川分

であるとされてある。即も孤潔良は西安に蔣介石氏を施設すると共に国法談局の大致意、容均抗日政

保政を保性に所介石氏を釋放する

に至つたものである、安協解決の一

石氏が洛陽に安着したとの公親を【東京南語】須層總額事より所介

[上海]|十五日同盟] 中央通信社

が國民の反駁のため身邊危險なの

に削せられる模様(宮頂は學良)で、些學良今後の行動は一切医療

ばかりでなく魔虫すべて猛省監禁における疑忱の一首――離政

新春から巡閲川岸廿師團長

組の要がある

磁學員の下野外運は決定的であ

議館史の一貫

再堂で最初の開発式。即かしき

天皇陛下御説臨の下に、新記

心臓型臭の潜陽到着を否定した、

學良は外遊

さく夜南京路に

如抗日デモ

定派出しを渡りに船と自己の身分 と明確となった、からる事態に於

て親国山氏及び宗子文氏の安協調

慶賀に堪へぬ

復命した。氏は本日全軍に對し即時停戦方を 安設田により討選軍総計令何勝款で上海廿六日同盟]蔣介石氏の西

外務省の意向

間の停戦態後の瞬間において安協 

一十二日張學良より要求した三日

員發】蔣介石氏は世五日西安か

全に張型更の組設を意味するもの

南京に到着

は御き返る騒ぎ

上海市民は狂怒しおまけにクリス像足、蔣介石氏師頭の報に南京、

した人民職職の風潮もこれに呼騰。第の深州を眉泉に迫つたが、期待

せず、西南道曜十ら野県良の笛と

難らず、却つて人足殿線の聲は一

渡し金温各地大小將町火

反配軍の討伐を南京に要求するに一斉に反戦が長の態度を明かにし

手りここに根本的な連算があつた

蔣氏釋放の

安加条件

行と貴族院及衆議院ノ各員股ムニ帝國議會理院ノヨニ

作倒ト新聞各國トノ交際の

東京出語】紫濃院奉答文 衆議院奉答文

昨下ノ聖言ニ別へ率リ下國民 ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス 衆議院別高長 臣岡田忠彦 誠芸誠園語ミテ奏ス

を組たので、二十六日の宮里を以

**賀補助**四五八、五五〇一朝鮮總質府旱害罹災者救済施設

風水害戲與事務費五七、 放判所その他語言語 一九五、〇〇

可能胜は宋子文氏の西安入りによ

石氏が無事であつたことは誠に歌っ受けた外帯省は、支那のため蔣介

石と同行して洛陽に来たとの説あ

質に堪へないとの認向を表明した

停戰電命

日夜幽民戦府に宛父来子文氏は二 の急に加はり、蔣脈文氏は二十四

五日朝允祥照氏宛それん、安協

於いて左記2個金支出に刷し釈惑 【刑官元話】或者は朝鮮總督府に

市信定流線路間上、「〇〇、〇〇〇 で東線線路間上九〇六、四七九 停車場線路間上九〇六、四七九

11H 000

東京市語] 州院式に賜りた

ム郷等売ク股カ意ヲ週シ初神案ヲ労國議會ニ提出セシ十二年度康算案及各般ノ法十二年度康算案及各般ノ法 

豫備金の支出

ける官報で公示

然シタ惟ルニ

歴費ノ任ヲ竭サ

**費ノ任ヲ組シ上** 

首等感激ノ主

刺語

垅

| 題記十三分即會、閩田嗣遊長 | 岡田 副議長

物語布答文起

旨を宜し、野村婦大玩外

始め奉り松平宮相、字佐美侍従武官長、松平武郡長官、白根宮・坂王郎總代疾父宮淮广縣王陵下、王御總代久羅宮の歴王聚下を **師を生頭に圧衝扇兵能伏の下に第二公式風弾にて祝田町通を延め次官、配見品式部次段、杉村主馬頭以下供奉申上げ張たる天皇** [乘即·首武侍往長御路源·牛助十時三十五分居中御出門、

【東京市語】衆議院本館議は午期 | 議長席につき 衆議院本會

遊ばされた

宮正面の御戦器に着御、路段な加盟に近衛距岐院節長の御光碧で右桁が各角を右へ、ଛ潔本部間を右へ、別くて同四十五分類縁事

【東京電話】二十四日召集即日成立を告げた第七十通常議覧副 族院 長、松平、 く開院式を終へさせられ

手に取らせ給び玉菩威でかに優談なる歌語を賜つた、斯くて近とる歌語階を拜し御明に参迎、恭しく奉れば 発下には之を御 時式場正座に規範逐げされるや、異田音相は昭田岩記暦の指形 術権長部的に登進部んで敷計群を拜受して退下、 「個異な、同十五分記事堂師出門、天統御版はしく宮城に顕幸 難下には同十一時五分話は最近問題

**寛野師を初め各勝勲章を御照用、架花御戦養雄やく四頭文景楽御師を申上げる「天皇陛下には陸軍撃武御正裝にて大戦企家花** にて参列の期間と前後して午前九時年年上り既々奇院、隆幸を

> にて附上便般に入御、御光着の高松宮、陽吃學謀器接宮、梨本 母族方尼從し茶り供奉送を聞へさせられ番母恭敬禮無に正十一 同十時五十分再院議段は市場を合綱に式編に入り、脈然と整列ので、天皇唯下には松平式部長官、松平宮相の御光朝にて各 以下各開於、平沼、元井禮府正前該長以下各個問官順に近衛**司** 頭香中将宮、東久田中將宮各牌下を始め奉り版田首相 院議院は電鈴を含圖に武攝に入り、総然と整列一階田南陸正副議長に興端仰付けられ、斯くて 岡田副議長、只今の奉答がに可決、かくてに可決、かくて 音文器を明譜、隣田副脳長これ

述べ、同二十二分散留した

は宮中の御都合を伺つた上春音氏・見今の奉答文 まつ重要政務を都議決定したる後 財命、周山市相は下各職総出際、は二十六日午後一時半首相官邸で

【黒京集記】 印内納めの臨時間談 臨時閣議 平年納めの 然特に商介石氏の西安散組及び安 に脚する報告、臓に感近の支那様 有田外相より日蘇德素質定取極め 遊師策に関し協議した 協成立により支那政府今後の現行 策について閣職を遂げ、ついで對きについても詳細説明、これが封

躁るクリスマスの晩に、ベル 出すがね、大正十年の合か ら十五年前、その年の雪の あつちこつちで盛んにやる ッリスマスパーティで懸ひ 人一話 ちゃないか』といつたらね 悪にかいてある字を見ると 現によってのみ難時し得ら それは和の字ぢや「和の字 一そうだ、東洋の罠の子和 いるとこと製画目な頭で 日本と支那のこの字の具 ふんだね

能負擔能力を無視して 総大な 電影

れない、ソヴェートは 極 東方 面 定が締結されることになるかも知

ランダ等の小協商各員政府は施政を受けるに至つた、又スイス、オ





皇陛下親臨の下に

世報日域以 法各政会 新行型

ル職盟事務總長はエデプト政府の 日以降二月五日までの間に特胎器 製品加入案を密維する局め二十五

ゼネヴァ廿四日同盟】アブノ

特別聯盟總會

思ひ出!

◆三路桶

政府が 必需理能に 来り出して 来イフ、ソヴェート、イタリー各国

結果、日米兩國戰而は直接脅威

の端緒を示すに過ぎない、一方ド

いる晴れの開院式

援揮



































### りついて仕方がないがあのの寄年の顔が夢に頃にこび

### 、瑕疵の支那を見るとそ

# **悠大國院奠第名深勝したがブルー。有利に欧定しようと決感してゐるシス人民能被対派に記率殴りの。しドイツは英勇善軍協定を自國に身ンス人民能被対派に記率殴りの。しドイツは英勇善軍協定を自國に負債を指上しようとしてゐる。リーに於て無酬財に疑唆する肚である。**

ものと云へよう 以上の事實は一九三七年歐洲政局有利に政定しようと決認してゐる

するお作の家へ道入り込んだのは

お萬はさすがに関の方へ聞く坐 れから問もない後だった。

ざいます。根学と云の

『それやア雅んでもな 江江い

らまだ小一里の道程、

で行きましても、向り

へ着くまで たとへ親随 ば、これか 銀銭がお真を伴つて、級母と辞

風 £

ム首相はクリスマス明けを待つて

ロカールでメリークリスマ

脱青年が私の側に乗て「君 スの転杯を駆げたんだ、向 リンに居る黄色人種が取る

青年は今支那のどこで何を

彼がさし出した名刺の

い側に坐つてゐた一人の支 の字を知るか!といらん

単事党の 間極盛に 戦低問題の 解ルーズヴェルト大統領に呼びかけ 前年度實行

### 

前年度實行豫算額比較表(軍等四) 昭和十二年度歲入歲出豫算額及 豫算額との比較

M 

管國議習に於て成立したる追加像京額を含むものなり

縮を含むものなり(以下度復行機が額は第六十九度度が額との制限上組換

世代の

つて、おくつろぎなすつておくん アいたしませんから、こつもへ器 んに申上げなきやいけないおやな一

お削さんからも、よくお婆さ

一それやアまアお焼さ 「ルノノノ」と飛渡さ

「どうかお鯉さん、叔母のいふ通

り、たとへ器い思ひを 仰しやるシなら迷られ

やの家にヤナ、財ど

ちやアござんせん

点果な住居、誰に追慮もいること ぶちゃこざんすが、あたし一人の いえもら御歌の通りの狭くるしい らへお客ンなすつて下さいまし 「お腹様、どうか御遠慮なくこも

やのところにゐる正吉に齊はない

「でもあたしや根岸の

屋

河皮三千点 贈呈

合せ私邸に引龍り加養した。

米兩國の脅威

|芳文次郎氏(東街理事) 方文次郎氏(東治理事)廿六芸)廿六日『のぞみ』で退鮮山忠秋氏(前大阪商船戸城支 八 (関節銀行理事) 八 (関節銀行理事)

田中部天氏歐米出張のため保險の倉屋主氏(避信局保験証用課長) 芸統務挨拶のためけ

あいる

店に長い間御配允になってた、宝 てやつて下さいましよら てなんですねえお腹様、銀版はお やの家へ行くとい

る時で、それ

階い的根の

んに、さうい

一そりやアさらにや遊ひないが、 いこたアなさらわえやねら てさうゴッくばらんの、行儀の思しれと思い詰めてゐな てからは、今時分は 返下であんなことに いましつ

今者へたことなんでござんすが ん。いつそ赤の他人のあたしが、 「かっとももりの どうでございませらかだっち これアたッた

これからそつと根岸の婆さんとこ におゐでなさることを、知らせて 一そんなら小はさん よる これなら のが根壁へ行う 原上提供了 第10回 **第** 

りやアしない

\お云ひつけなすつて下 ちゃございませんか 総に知れることも



# 沙谷域 船競爭

**選長野村寛大氏(民職)より起草 も明朝な年であららとの懇願的な る、英國海軍の一九三大年度新建** 概についた田中耕氏(選正館)を「特族員設」ベルリン駐在の外域使歴代表践を指名したる後期しく議 【ベルリンセ四日ベルテナックス 委は壁の細菌及び結果を報告し春一般測をくだしてゐるが戦事と革命。選トン数は一九三三年度の五倍に 

上地遊良王事風水寒復遊毀和助 | 1001、五二七 | 1 監判用その他風水密復的費 鳴線江共同調査會の

覺書正式調印

野頭一如を自愿とした物様に共和一る一月廿日頃を湖港園交通部大臣

月廿日頃李交通相が來城

は廿五日午後十時「阪塚良が所介

◇協田伍一氏(京城保護観察所保 ◆提良明氏(京城保護観髪所長)就

一大山地 女 貴 には最くも、様に 小方面事業が影響を削まる。様に 小方面事業が影響を削まる。様に 小方面事業が影響を削まる。様に 小方面事業が影響を削まる。

「ヘヮヘッ、いけないよ叔母さん。

西の小的だと思つて、様はすむつ ふ約束もしたでござし 他人とは思召さすに、やつばりお ヤア比どんはお確さ 「お鞭さんは叔母さんなんぞた皆も一てるか知れやアしま が温ふんだから、何んと云つたつ一アそんな返らわえこ 心の知れた男おやござんせんか。一山ノ手のお屠歌を出 「それがいけわえッ

他所と述つて家ちゃないか。聞くしちゃわえから 事この銀織にお任せなすつて下 となるあれる

して頂いてると、却つてあたしが 「何んでこざいます、お腹部一品 どんなに深が語るか知れやアしな っでは小母さん、何をお願ひして

せんともちつとだって御送屋に守 ア及びませんから、どんなことでして 「い」ところの歌おやアござりま へ出かけて行つて、お脚標がこく

合題を打つた。

ら最誠に、松岸とやらまで送らせ 「そんならあの、あたしをこれか

がら、やはり今年もが島東河々がら、やはり今年もが島東河々

計場する目め新鑑理者を代鑑理法トン保証の清期失効後の新華盛に はれる、悪に十二月卅一日ワシン決に配き協力する感向であるとい

に制限しようとする一個の休職協

枝 完

保 ٩Ŋ 433

歸省客の緩和に

製分が居る事物明

で二十他のスリを自白したが世界 し府内各盛り場を荒してゐたもの 構を着いんで勧等や生になりすま

の未、逆に江畔の石土管の治場に

日まで参加京城間の一、三等急行

風を投じ今夏二回に亘つて受けた一完成は明年南季までの豫定で 既報の通り鑑道局では百四十六英一水器箇所の復舊工事に着手したが

中なので、直もに小村福院に巻き一

路って苦悶

の妹はつえさん(こ)が れたところ既の四塁年で蘇一郎君

省容が新春早々開鮮するのでこれ

京城晋午後四時廿二分を運似する

|型局では年末内地に錐沓した器|第一〇〇七列叫釜山午町八時起

五日から六日間今一ち

死した。所大門等では死因を疑び目下警察費の手で死鐘取調べ中の周面中谷里襲山へ石がかに行き作業中突然多様の前を吐いて時 

東大門署で死因を疑ふ

鐵道の水害復舊

百四十六萬圓の大金で

機能司令特別兵の

頭を軍國色で難か

全鮮に網を張つた

|秀殿として散布される領は約

萬圓にのぼる昆込みである 渡航證明事件

スリ團發見

漢江河畔に本部を構へて

城道整質の理院部門に絡む

郷共武は一月八日

様兵場に於いて 館となつて棚山 融長が近兵指揮

九、騎兵二八、

師の多出版事祖か達來町一丁目で

を政児副へ

この一層は李五幅が殿長裕で並八「器似三百世その金織」原順に進。奉(三外少手)名を逮捕引得けた「荒してゐたもので目下目白した被

李五面(三京城南米倉町生れ金八」してこれる先数するなど全町的に

この一個は非五元が開長格で金八

奉が副題長、記下にチンピラ敗名 てゐるが引題き取調中

石積作業の青年

學された世五月明本町器蔵末野成 シーを飛ばして金い。他に稼ぎ廻る

(掛りなスリの一層が本町署へ検収

動画でかけ廻り殺菌生丸前科一級 その旅行先 さでも配行町から避渉構下を同案推斗職は直と荒して菱を睡しよき朝とみればこの南名を避御題にせた。当新館 タシーを照過しては府内の盛り場生れ金属併には、蔵師田とは 「大郎留をを集ねたスリの一〇階でタ

その根城を 躍つて歐北 |金郎伊、威智吉の兩名は用心帽と

兄の苦惱

自殺に同情

約一萬圓から稼

ると、任所不定金濃設「上丁段各

所門東公立帯通過校の御服御

人政統一干五百異に強する鬼込みで、金華館に職材その他に鍛金の朋を降らして動成この總金融の改良下事及び配定確認破の下事に使用される人犬を入れると延縄だけで使用する職時人犬は一日三異人にのぼり明年一つばいでは殺五百異人を明年度京参開中年級の沖縄門事に成り可認を保練することにたつた、同

景氣の大波

鐵道だけで《人夫千五百萬人

物凄い賃金の

里度の籍奏会(こか山路で正備経)世四は夜泉遠道和川郡水北面三郎

**感に闢迦し動詞される人犬は魅しい故にのぼり、先づ明年の景質は鬱血を釈顔に入る利すことになり、この外北崎方面をはじめ一般の土木碑歌『華及び山藤』華** 

**各版上事を中心として非常な眼はいを呈するであらう** 

來年半島に渦卷く

出した「家庭生活の政治」と「始

**原院李貞愛▲東大門聖通學校孝」まで歩兵七八、午後娑時半から三十から大時まで、野七九嶽館。新長四十六韓(憲後三年・遺数笠間)子が野曹通理校林順分▲梨花女 九日府民館で午前九時半から正平 から大時まで、野七九嶽館。新長四十六韓(憲後三年・遺数笠間)大大田本学の大林寺町▲京城が上年前改造四百九十六四本土田楽學校林学町▲京城が上年前改造四百九十六四本土田楽學校林学町▲京城が上年前改造四百九十六四本土田楽學校林学町▲京城が上年前公本土田楽學校林学町▲京城が上年前の大田本土田本学校上年前の大田本工** 

苦しい神を脱ぎ並て、本府から提 副長、奥山州市等が出席、ける壁

▲女子圆梁學校林孝貞▲京城女▲遊明女子高舉曾通過校超坊拱 ▲女子基曾被資年實河內外國子及浩◆梨化女子專門學校科恩惠

に富永学務局長を始め金融的政策

の本析から

專門學校方信榮▲東亚日假社☆

半島婦人の生活改善座談會

高らかに養命を打鳴らす本府原館さん如何ですか既然なく如為説を一切解解人の《生活飲養》を照印に一一大問題を一中心に「協 先づ生活改善と教化について語る

本府學務局の招きに應じ

二翰展光本平詢町五三岛韓直子 | 本親花女子原門果校師願京本親 | 女祭校奉波越本嘉曾町一一ノ六 | 本周寧女子尚等溥通果校宋守藤| 小談本内登町七三華眞默本諡信 | 本京城女子尚等曹通學校採貞圭

教育器の「生島新女師整談館」は「出して下さい」といったいと楽し

一六日午後等時半から数化、県政

くっなごでかな様に生品加入の軽

初年兵さんたちに

婚人三十餘名を朝鮮ホテルに招待|半ごろ終つた、出騰者は次の通り数章、崇敬等に職報のある朝鮮人| 醮の重大資料を協議して午後五時

顧順▲翁書町一念荘卿▲中央東玉▲同郷女子高等普通學校 あり江路製に国け出た

線路を枕に 失懸自殺

あるが兄妹仲良く、廿六日

音楽のおとしても家々たる が順品としても家々たる ですり、家庭の ないですり、家庭の

走の街に指子が閏出して府内各名 生活態のためか不義のためか?師

部形には何の退場をなくはつえる

Columbia

で自殺を計つたものである。

兄のあとを

炭末に捨子

今度は女見

**整池町二七俊美館郷土県昌普氏方** 

といふ兄に同情した謎の過いを弱

かる、私も馬里だけに苦しい。一兄さんの苦しさは私によく

「年十月初旬お母さんのヒサさり

活用第

課

武期の主はつえさんは

豆然、連山川を大田観響単行列車 一四日午後十四十五分ごろ湖南線 施行中線路に横臥してゐた朝鮮 朝鮮青年が 並ひの人の訳をそいつてゐる けてゐるが兄の名を呼びつらけ附 病院ロベットで依然は磨状態を

唇うし厚く御禮 は態々御見送を は態々御見送を らず御懇情に預在鮮中は一方な 所の人に評判される程仲良しで耐近の人の語――『あの兄妹は近

號四〇二第

する操作器ノ

低音部を突事に演奏 困難と言はれて居る

¥35.

よい人たち

京城府の 心つくし

何中一郎経の第さん山口概率は

平申宗派("4)▲同六月(同六月)四十六錢(常松)三年、遊機を周)四十六錢(常松)三年、遊機を周)四十六錢(常松)三年、遊機を周)四十六錢(常松)三年、遊機を開)四十六錢(常松)三年、

に愛人らしい女の観賞を抱き失いなの思賞を抱き失いなの思賞を観殺したが関中

以城地方法が京四號法はで明ださ

に對して左の如く犬々物決を言渡し れ越物長は去る十九日の檢算不利

偽强盗に警察力を集め

の際に現然計画

全面体験に機能過程整定は"引力」のため開発する語の戦闘をもつて ・田(同二年同)定機過過1部水。のため開発する語の戦闘をもつて ・カースを開発を表は、引力・カースを表しません。 と交々間つてゐた

號四一二第

タブルノブラノ・リ裝備せる本格的ポー 堂々二選モーターを

て難認が党力をその方に郷中して一をしてあたものであつた。日した、それによると傾申判をし、木の金をつくらんと漂ろしい記憶 金欲しさに抱川署を擔ぐ 六二年後五時ごろ新戦州器で加 では昨年十二月から今年十一 5版地町千代本の戦場勝行態次 持逃げ御用

城

娘北る可からず

劉で取謝(ると第に侵みきれずは「翻響正記さんガへ劉確に押人り年」 デー田 の「日 三大」にあったと単語して東たので独川」のる間に連川電蛇栗面衆各里図物 といい

質されそのまる家を飛出し委託 八大僧 口層三氏 三女 八重子

質と膏域を有する大他の追随を許さぬ音

死體を運ぶ父親

飢みと寒さで母親に

乳がなくて遂に死亡

成天氣豫報

化の風鬼く 優つたり

**電職事物の公制にサ六日年前十一 調べるとその包の中から生後四ケ [ ぎ-で館と残さのため母親の乳が - うと彷徨してゐたものであつたな京城鎮路署員の達航議明に経む | 高勁包を復えた男を祀川劉徴が取 | の男は京城で往十里町数上を選集 | を担いて興弾に金なく逆狂に遊を** |劉耀か取||の男は原域で街下胆畔線上幸運跡。を抱いて崩壊に金なく滅狂に滅そし修士帝風||月底の男の子の松紅が出て来たこ||出なくなり、世五月後戦死したる 北州北州の万里 暔

に川地方 (今晩) 周封く 上墨つたり (明日) 同じ 京 孤地方 (今晩) 明れた 部殿北 右同 晴

妹も服毒す

奏。―といふ兄妹心中の記録が新しるる、よつも言しったが、形なこ兄のあとを辿った世界の記述。産」までには次の様な悪しみが様んでした。 **蜀つて死ん『行つ』兄へ、その妖「獣臓でうわごとに兄の名を呼びば」さに光似門町戸川衛院に診療を営い近縁解司の戡しみか『若い生命を』込み懸急于真を加へたが近縁近難』のみ直載を祀つたがあまりの苦し** か心からなる原典へと可能をよせ、けてゐる、はつえさんが死を選ぶ 婚約解消からこの悲劇 けたがつひに午後五時ごろ失つた あるぶす大将 を正月二二、四旦三日 の全正月二二、四旦三日 いてり、は作

(地間に起って流しい肺定の歯(臓)胃臓が定めた疾病病がのて胃れてほるあと丸1に迫つた壮五・足球(は那里の病脈胃腫脈腫・腰町のほるあと丸1に迫つた壮五・足球(は那里の病脈胃腫脈腫・腰町のほったり、上の 結婚する日を借つてゐたが、最近

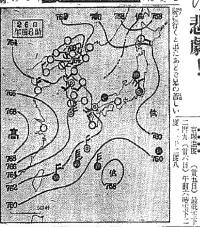
末気語を投げかけた、世五日午後

一時ごろ京城旭町一ノ一六七本府 末納届は高力配一部さんでも方

く酒に心の施子をまざらは十歳に 米同君は自暴自乗になり**征**後の如

なったが振情に若者に迎へられた

一七五日の明け万自宅でアダリンを一をチット見守つてゐたが、兄か病 た、はつえさんに兄か服事するの戦闘者の名を呼びつく死んで行つ



国旨塞

會商器有需求Ⅱ 社會式林 元號發走器

走 指 御院病料 服 各

一書点・近七三二長本印

正確明則なる服鏡の選擇

近代人常識の

0

性態を譲ばれつゝる。 ターを裝備し、最高 裝の蔵容ノ二匱モし

















































即中國面目利居里於口灣金典玉(二

品を構製、主人が続って派に欠渡。の道路に遊遊って一名の電に現れ、元郎時中の遠右は云る九月午町三の万に二人組の登画頭端埋人り金(途午後七藤半町国面内東選邦科灣「棚面借町里奈岐事付水坂・この身」は伊賀画書を選出人

金三百六十三國を免務其進した「野路走、且下遊物器で取入武城中」在三百万に放入し天郷。慶越に朝入寸館の在刀を突きつけ旁迫し城(関入を脅迫城立七郎七十八壁を鎧(時近至北長水郡蟠城市代山里泰盟)。

これは追剝ぎ

長水の强盗

大田署に就縛

三十四段を重要進走した肥人と物 節犯丁を問かして脅迫し砂室四郎

牛曳きのご難

【漢語】黄州郡大田東外下里墓閣』(大田東西)郡大野武師の大道は「明二十五日並水郷に押送した

丁丑は躍る一歳晩の繪ハガキ屋

二人組食刀を揮つて脅迫

# 年の瀬の戦慄・惡玉の跳梁

三ケ月4續いて命日に出現 の集金强盗

「金僧」去与十月二十三日末期本 (江万を襲び) (おらず非常線を張り海豚中である) は解脱ないと おれず人心側をなる歌またしても 大な螺女に選ばれて表日から逃走 では際に使えてある。なほ被歌書されず人心側をなる歌またしても 大な螺女に選ばれて表日から逃走 では際に使えてある。なほ被歌書されず人心側をなる歌またしても 大な螺女に選ばれて表日から逃走 では際に使えてある。なほ被歌書されず人心側をなる歌またしても 大な螺女に選ばれて表日から逃走 では際に使えてある。なほ被歌書されたい、歌人不明の屋を繋びったの歌日 は第月二十二日の郷金日を知り三町に出郷して出郷したの歌音と表情に 妻女を刺して逃走 三犯の札付

年末警戒陣を潜り

出没する强流

甘言で釣り出し十二圓强奪

。「中間が郷生した、被野湾に東域」とり取に葬が重に行くと前して連一する産鑑の郷生に所職資源器に除する国から安深面に通する道路で強「隅市場を推領した上同所で夕食を」である。この質局の警戒線を奨美に向から安深面に 版中午的二時ごろ養城和宏が面金一型日姜の下見だと甲を連れ出し即一二則六十二錢を最報逃走したもの 協衆面は副海中義石(こで十六) 【大郎】去る十八日蔵木鉄政の銭 | を世話してやると節して消り込み | つけ隠細に吊してゐた財布から十 れ廻り深更削配ね所に差掛るや二 犯人は直ちに逮捕 |新平面に行くと前して連||する環境の凝生に所勢最城署は降

> あるが他の解説は何れにか隠匿しに立題つた謎を押へられたもので ガラス取替のため助児原四時計店四を別収し居品の金剛航程時計の

> > 大金入りの手提を持ち歸り

然しながら、講談社の館本が

平省に資れるのは

れからです!!

ドスを呑む虎

大荒れして

ブタ箱入り

は中河洞並指子(ご)といる男が芸「ると矢師にその器に引動して殴り」。 市中洞に立処つたところを連修 この中をあれた自御政城郡苅平一個代せと迫り、持合せがないと断って摂立中女二日午後磯城郡代治司 接続祭客と連絡をとり開起となつ

に覆面湿流 「実は共二日府 | 四朝の町カフエーオ | 「劉田庵」 府四郎井町大工歌郷田

【海州】廿一日午後十時半頃で山 | 河李忠茂(こ)に世三日附近の沿東 | 既報十四日末明大田署の定设容及 市場で買い水めた牛を曳いての節一名食がりにかくつた金北南政邦司 取締ることになった 問題のヨタモンの様行がはげしい あた「解文解内の通過を組織に強撃」が見食らず年末の大金が失に驚くたが優中に超刀とのみを断接して に同島動作部を移所へ駆けつけた ので南浦者ではこれを戦争に賦予 たいのでプタ程へほうりこまれ

三百圓奪つて逃走

これも大虎 少年に刺さる

【沙里院】 岡川祁笠松回北部所計 平壌にも湿流

里一二一平壌財団局出場習出三〇一会品を量率中物費に目をさました 学生産の城が即し入り主人を叩き した、電磁域器に横い手腕等では、 でも方既日から11十三、四級は、家人選に騒がれ一様。第十年第一 【平橋】 甘三日午的七時切時内西 起して凡渡り三寸除の朝鮮美刀で

野越鑑水行き三八四號列車が耐内 路を横断せんとして跳ね着ばされ 東町部特別異を強行中朝鮮女が線「紙氏でき、は平王をもちながら紫暗 工三日午後五時四十三分至南光州 婆さん 轢死 [光州]

船も列車も 學生鉛生り

臨時便を特盤して轉手古舞 冬休み入りの風景

近。桃

何北七大評判、太賣行!

**灣歐漫画傑作集** 

登山を連合する内部の原窓は内学・夏日間は簡単純に大道第を通するの如く中四日等から観査資本の館「見込みで調査では選書内域の経過のは、「見込みで調査では選書内域の経過同となり大調連番の金剛技を始め」で開発に大量である | 華山| 蔵末と内部製扱の体限で | と押寄せた版客の報送に知め、茲

無調丸級の三級も動成されてドラー

将所 東京·少川 大日本雄辯會講談社

G 大 笑 漫 画 これは近日中に記載になります。

W

京

資生堂

銀座

飛躍の課長位になれば新聞も継 あるのでせうか、それともロへで扱め でもうね、それともロへで扱め

れたが廿四は子後一時学法院太正大郎を清算して予助として歴生をの他の事権は憲役一年学を末期でしばあり起報長は「出所したら受

上に公物路定認能長より監役十月で放事が全部を開棄されば二十七郎日南朝華暗館三井総事立會ひの「きて」と続つて服服を決遇したの

講談社の繪本

御販賣の全國

とと思に厳し被害る必ず

木決物留三百日通りの判決音談「八日頃には出所出来る説である 社金を横領し

相場に失敗 晋州建興の支配人 遂に身柄も局送り

お蔭様で

盤山に小火

会のを責任」ところ「十四日)代書領と共に被職がらて提案は終 関領したことが認定し東朝へ中の「別コリッとのとうなべした、原語している。 るのを奇貨とし吐金一所大干園を主動から印鑑祖金幌等を且つてる が、今回常務並三島できば此長村することとなり日下建築中である

三元一日即立し朝鮮利理館を經營金六萬國(丙三英國開込)で去る 「資州」晋州延興様式自此は武本 和師の内容は去る五月頃から金三等は、関手金を導入で配金ともって野州内某を無認可期米取で所で期末に干寒と出し結局十月。一十月頃までに一貫六千頭の大八を削げるに至つたものである。

間もなく鹹火した、殿辺は煙栗の墓主房安原伊八つと方から出火、

### 発川水助できにかいる詐欺権領で | 車局に送越された 無形気な重い の種を播く

の住居使入別参削科三犯重長副("加泉調べた。現在は、所凶知富町二加泉調べた。現在は、所凶知富町二加泉調・土地・地域、・地域の住民を表現した。

切前人称 年を誰 何した過 逃走を修繕を低額し てゐる罪 動不能の

| 著佐殿・南・徐三服事が府門本町三 【成興】二十三日午後十時所成與

成興を荒す

横領府議

懲役十ケ月 更生を暫ふ

際院に備ぎ込み手宮中であるがで と舞したので露いて彼的者を進立

刀を振つて夢中で李柱善の下腹部

野打したので位置した石少平は小

「博主とその長男」。」をさんし

一断男大乱脚を対し仲波に入っ

同時間医師を経験中同居に時計

【木道】府回政は染川是太郎こと

上の繋ばになってかより対表に了一三百七十個人りの手足を対えていた。 中の繋ばになってかより対表に了一三百七十個人りの手足を対象でい中に 三百七十個人りの手提信立路を置 中で北三日午後三時大師着達城町 都野突直からの解語の拡張合目動「麓の覆きしかないチを動ではある。日をつなく程度なので高層氏は一般的1丁目積層質和底。。6)は義城「てゐるだららと一日二十艘か三十」でゐたこともあり現在では新く原的1丁目 た正質チケ郡の物雄り……大郎府 | はこの年末に落した人は言を蹴つ がこのチケ君は虚いく大阪で闘してない。[大郎] 鰕耜の慎しい咸頭に突い | 手腿摩が入つてゐたのに蓋を一景 前数置へ周出て無事院主に返つと が根か正直ものだけに指つた甚やく融圏の意味で凱覧の解説をし 子供を叱りつけが食も食はずに瞬ずることを引き受けた 父子 ゲ君を驚かす

ム靴業者悲鳴

原料値上げど農村の疲弊

大祟りで經營困難

芸(学) 転後玉蘭さん(学) 古型れて城してみたチゲ郡大部駅前城岳等なつて藤前交番に田出た、一方同 あた三つになる長男が深へ配った と言手に信立義を掛げてゐるので

いてみると別途三百七十週その他不能に思ひ夫が夕食に歸つた時期 上度での度なです人の頭は重れず 関鍵しで一ポンド六十九銭で前年 高い原料を呼びながら製品値上げ 野毘しで「ヨンド六十九鐘で町学」南人を写出しな調べた結果面|【平瀬】昨今のゴム原料相当は平 | て姦通事でを訴した。奥田県で【平瀬】 もならず府内の否ゴムで国に敬立 に第つて指法部院状態に貼りたな一直にく解宮の町でプチ酸いてあた事實を飲むたっぱ、別のののでは、別ののののでは、別ののののでは、別のののののでは、別のののののでは、別のののののでは、別のののでは、別のの

家人にさわがれて 物も得ずに逃走 | 新述となって犯人を摂立中である げてゐる 虚烈な競争をせればならない苦し 新く籃部をつないである飼成であ一個かに朝州用輸出の財政・製造で みがあつて生産認義選ば影响をあ 浮氣女 しかしこれも内地重の商品と

**流 [F號]**:

題献の風女金崎低(さ)と判明した「してみたが本夫金本は途に離別し 即死したが取割べの結果大正町李一づかれ、すつたもんだの騒ぎを起 製上出し帰民きを辿れて卒主に思 【興南】天常田難近陽金本泉の思 遊びすぎて ブタ箱入り

した表面人、図心したのかしない 既務館で崇拝長と誤日の鍵すぎ罪山府郷 新聞語の楽金小的 小佰「課長さんな

の線本四十七十

が変観に散棄し金本の目を強んでは、一世漢をで議論の外に四人の男・都色が選挙で表演の外に四人の男・都色の人の男・都色の大きない。 。 [編章] 府資議具 ] 同は「十月夜 と 科学在月に田口店学以下府資総典 日、府管出入記道題を招待、歴第 8 宴を組した 年末年始のお子様 の贈物として一 品、お客さんがドンく押しかけ 愛品僅少でせうが 何處のご家庭でも、御入用、絶好の

羅津府議懇親多

自由にどらん願へるやりにお配慮下さ お店先へキレイに並べて、お客様にご いませ。吳々もお願い申上げます。 熟 記 記 見 重 人 郎

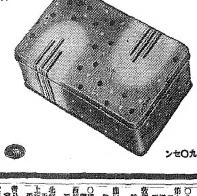
ーリクな的想理も最に生衛腔口

罐術美新用答贈御 すまいざごも (ンセロホ・スケホ) 函駐美新用答贈御 腕一座銀堂生質 に他のこ

大阪商船川出帆

御進の地で

西姆大河行 医加里克多一种马克斯 医加斯森 经山一时多一种马克斯 人名英格兰人姓氏 新山羊日 东西二日 人们无月 新山羊日 太阳二日 大 長霧山丸 横部岩目 元山平日金剛山丸 日 海岬日 光山目



學つて紹讀御推奨!

方の並んならぬお努力、何ともお禮の申し上げ さしもの大部数も品切、大宮刷の資れが、皆様 瀬天下の名士教育家諸先

講談社の繪本

は凄い評判

鹼石ムーリクるすくし美らか地生

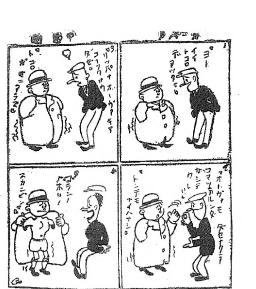
罐術美新用答贈御

ンセ〇九 入ケ六

新疆州 日朝国前人日仁川十旦 漢 城 丸 第23 日配田市入日仁川十日 新鮮の一年第一宮中一類 ・ 新鮮の一年第一宮中一類

施基督司 河畔五日 元山岩目 施基督司 河畔五日 元山岩目

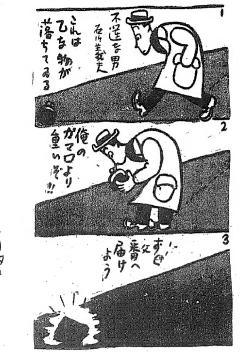
g 9 丸 广川三月鼠南浦四日 骨岛行 芝罘—大連常港 仁川二月鼠南南洲三月蛇山七日



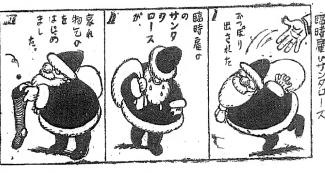








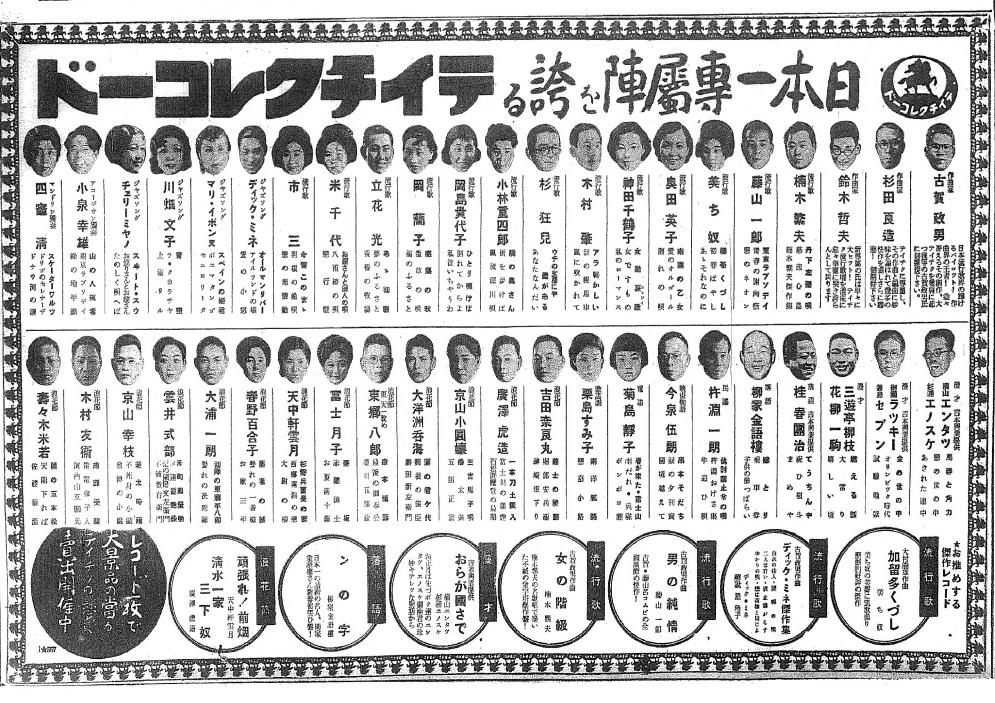














\*\*\* 第在课

十一月二十五日より二十六主で 上映開御政 東大型原統領理側 第一回 第二回 第三回 東和師申提供お **も か げ** 京日 朝日 ニユース 11,30 3,48 8,15 松行下加特 林艮二郎・田中部代上版 あ 夏 清 十 郎 11,55 4,11 8,38 第一回目のままかけは上映版しません 人類科大人50類呼出30種

マス・ 十一月二十五日上り。 東京都原地第2999日 東京都中提供おり力。 東京都中提供おり力。 を行い前門におして、 第一日月のおけ のでは「大人ちは

からマネ

高田登録立の武る主演

大阪門間 日本の伊夕 本年神紀の大典行 本年神紀の大典行 を登記また音 の ま れ た の ま れ た の ま れ た の ま 一 女 一 座 日本高麗地 K B 郷部 田本版 オンセンス・ 大阪師 側部、 チンセンス・ 小 は 新聞、 デンタンス・ の は 表問 こここと

場削城京器

随日朝

キゲカワ

(3) 日活日活日活日活日活日活日(3)

日活日活日 常 梁 壹 日活日活日

OZOZULENYAZDĘDĘDENYAZDZ

**20**0 + **3**93 **300 + 8** + **0** 

-(3)-

|とさきききこし世

へをるぬりろはわわろをほをちたへよ 七二二二元末五七八七二七八大大十 1 235 13 9 14 28 2

(黒) ロカルでロ六十に重ぶと い大振響りとなるのですが、これ の大振響りとなるのですが、これ 関 (黒) ロルーと二月を取る事に 関 (金) ロルーと二月を取る事に の なつては、形勢の有利をはつきり の お破する事が出来ました

かと思ひました。日の四六とは、



(左記の内何れか一品附呈)

**風目**公

品

出は左記の大懸賞募集の規定を御**覧下**さい。 した「あかねモス着尺」二千反を皆樣に追加 谷位の愛國的御同情による輸入防止の使命を オクリームの大懸賞付賣出しはクラブ美身ク

有りますクラブ化粧品本舗は皆様に謝意を

一本・特選訪問着…… 一着一台・蓄音機(\*-タワンシ 一台

队百名

個反個

…一着分

參

第一本 百名

在 名

全市は歡喜のる

民、第十三肺長的水原氏、骨臓・腱炎、原長事物の食料脈に西安証・領長原機承氏、第十四角長衛立・した蔣介石氏は二十六三次整明を

政部次長阿越氏、肝方鏡氏、第

生命の危険に続されたことはなる予に對して忠誠を誓つてゐた

「東京市野」従来第二際第3名職 の下に脱離大衆第三般内で行動を 班にしてめた加勝、黒田、松本三 地にしなった加勝、黒田、松本三

ら古は

氏等は中央と提供良氏と安徽成一類中の所懐を中外に公表する語で

全體會議を開き

(上班) 十六十回盟 中央銀行者 成され二十五日夜間 は によれば新北石山 - 共に声域に 同時に臨時別地で再域 になれば新北石山 - 共に声域に 同時に臨時別地で再域 のである。

ピス一考

洛陽に到着す

自動用で軍管理校内の軍事委屈技権邸に入つた、西安で監禁生活一週回路氏は遠看面第れ上些が憔悴の偽を見せてあたが出辿の人選には終始にこく〉と演奏を述べて操奏 **売館で窮敗なところを見せてゐた、勝比夫嬰に同行して陽環したのはドナルド、黄仁葉南比のみで宋子文、祇歴農氏等は本目は劉来** 陽出發午後六時冊分朝野の熱狂的歡迎裡に南時宋美齢夫人、ドナルド顧問帶同、飛行機で洛邸に一夜を明かした蔣介石氏は廿六日午前九 軍官學校に到る費削路で中山路一帶には軍隊、學生、青年際時前側に勝列府氏の翻来を待 來版々と家宮飛行場に御寄せたが鮮飛艇軍を極め一般背 には到る所一歌迎解を原長」と大出し 飛行場に到着即ちに自邸に入つた した版が個り際社的観測振りである、数萬の市民は朝

**問題】時代石氏が総社なる戦闘権に着景したのに題れること見る二時間元分午後二時十五分監察良元末千文氏に作はれ、** 

飛翔り上海に向はんとするやに見えたが何故か呼び飛行場に引起し場内の蔣泰康長院迦の聞きを他所に入日を誰けるやらに竜門川出飛行場に着陸した時は既に蔣代石弘出迎への人々も去り場内寂寞たる有標であつた、誕はこくに着陸すると聞るな

(那側自信を深む

**時介石氏の偉大なる人格(二)全國興** 西安事件、全支動亂に至ら し全支動剤に陥ると見做した 『學良氏の失で、蔣介石氏個人を躄せば 國民政府が潰滅つあるとの 自信を持つに至つたことは事實

長九端朝氏は二十六日午後左の龍

甘六日間間 南平り成祭

『上海井六日赤温特派員襲』所語石民の開京で朝民祭

の総意を問は

文部參與官

第出、総本曲代統出はこれを兼勝 無出、総本曲代統出はこれを兼勝 無出、総本曲代統出はこれを兼勝 にかが誤認の加速代統士は労協の するから他大統の名に於て一致の

下班二十六二間出 時代石氏の

何部長布告

下西十六山地 行殿節

近く更迭か

億四千八百萬圓

般統治は消極健全財政に 主力を開發

算は歳人、歳出各二億四千八百九萬八千國にして前平度島及暮瀬(年) (新京廿六日周出) 南洲國政府越表——蘇德四甲度最人做出 砂路 干萬五千個に比し二千八百六十九萬三千國の地加

**夏嫂」** 湖川國康湖四平度電外 環編成方針は依然一般就治療は世大山政府より解表された。 【新京卅六日安井特派

脱削く解決して朝鮮セメント界も

**に認めさせるに至ったが、今後益** 

世界外交展望

廣田弘毅

岸田

渡原鶴

逃は

景氣、どうなる

統制經濟の相別自由主義經濟と

直

金堅 太太絢

郎郎子

興行虎の卷

こと常分は平線を複雑されてあた。 とが脱る保険でもの地位を解除するだが、 優近に至って交字部が領針をしたとが脱る保険でと云ふは見が此内が、優近に至って交字部が領針を「に近さをなしつともっ」。 過級を投げかけた字部問題も過一く、将来自此の地位を開架す 關係方面を刺戟

といふ被害者がたしく、二官総院代は他々の腕 管長や町本 管長や町本

【原京化前】永井、安康或民南縣 割當決定す 常任委員長

記は名は出することとなり二十六

六日午後二時何第十六時候

効くのが特長です。 「一様り込むだけで早く 所へ様り込むだけで早く は外用ですから、胃や腸

即氏は病気のため平生文目の手許 間氏の後任として民政策の武知所

頭痛、歯痛などの痛み止めに イマチス、神經痛、層の凝り、 アスピリン』とも呼ばれ、口 サロメチールは一名『外用の

たいへん効果を有します。

服ですが、サロメチールしかし、アスピリンは内

に解設を提出中であつたが政府は

(中十六二島東 高長 十六日 湖過東京へ 湖過東京へ **半年二十六日(城間復調制へ)** 

直接に効く/

い紙持です。 ら割み込み、痛が的に皮膚か

総裁、根が陸軍 がよい会だが 任事をするだけ があって討談 七二宮紀数の





がをしたとか、前内が離れ上ついをしたとか、前側が見着を継いたとか、前側打み・ 順れ・



花钗です。







神経(の)

属まで行つて

れたといふ話▲

顔下の出生

対すないか

膿み傷・痔疾

ゴアジャシ

但し發表は明日までお預け

とだけは云ひ得 にないが、朝鮮 にないが、朝鮮 にないが、朝鮮 にないが、朝鮮

東京。大阪

M

遵 施 凗

E

用

庭

サロメチールを常備 されて居られます?

說

茂山開發全計畫

げて緊緊打破の新規面を現出し、一部のここはで、1 】とよして、1 りの観を思した世相は、顕野を累しの既適阻逸の方針が徹底するにしての難くこ に明古末所有の不能事物と云はれ、地影の真相が曖昧となり、歪曲と 上にも反映して多事多端であつた 今年一年の政治的時相を回載する このでには、「「中で、」という。 このでは、いことを知る。今ことに、選に付いては随手省、目締第の各「明し一般の避解や態度を来解するの態態を関かせられたことは来」も同様所有の変は鑑賞山の限機能、本年中同心が有する開発方針を製工はれざる所切にして焦慮に堪へ」するのではないかと見られて、即「ものと見らればの衰弱が発疗状況 わが施筑史上所の如き言ふに

株式に

になってはもはや一日も循環す 他の立場から近極の説をなすもの 至ったとは言へ、何任各方面に各一

語さへ加つて新春を迎へるやうな

大事性の點離、廣田の

内鮮當局の折衝 同案の全貌判明近し

各個各様の魅言を示し、歌一典じて、領鮮工業組合令を翻令に、隔難別なる本年末頃送には是罪と す内地周業者と職僚の流い躯下、一つから悲らく本華来が明春初めいより公布する方針の下に、取り政・も之の解决を討る方針の如くであ 年度より内地工業組合法の展別に の趣願工作を進めて居るが、朝鮮

表にいる。「他の大力を表示している。」

「他の大力を表示している。」

「他の大力を

ける東京市民の冷酷ル者そのもの

野質なる細胞たるの性態を

【生息支社裁】朝鮮總督府では明 |産局長との間に歴次に進る折動が 総定してあるが、総付石戸順部の

抗日諸事件等々目出しき問題が無

数に存し、政局はこれらの問題を 劉防共協定の成立、支那における

朝鮮道路令案

自各様の証言によって常に事質の 一のではないかと見られる 山の採掘財館に必要なる資金の大 間時に夜山を初め其の他の金銀蟹 に多める根据である。前して之と

施設を急ぐ

第二菱炭山の遺鑑所は明年四月まで、 とで、大塚地の東定であつたが纏め、 に現めて新潟地となったので遊園。 に現めて新潟地となったので遊園。 に現めて新潟地となったので遊園。 に現めてありたのでのでありたが纏め。 に限めてありたが纏め。 に関めてありたが纏め。 に関めているだけ続り。 といるには次でした。 たが増配、軍需工業への利潤関型 高に世界的の風潮を化しつくあつ き競戲に挑びしてゐたが、二十六 三週間大記迷ひに十年來替つてな インフレ野遊を反映せる重要商品

走力保は下海線、人場、電力の器( 音楽物は1mm 音を埋めて東に一国終金の人評議化し、新軍、新線の | 華新内外機気が被訴が発音| 回路、 1は三島人絹の大鷺騰にインフレ

和修正大陸服隊原によるインフ和修正大陸服隊、議會に於ける試制主義の緩緩、議會に於ける試制主義の緩緩

五高

取力物を偶然立直東電の二国高 取力物を偶然立直東電の1回高 まされて石川島・国下高・新二 就されて石川島・国下高・新二 第一

本年の鮮米移出 六百萬石内外か

運送業者の打撃は大

と共に、一部の餘剰電力を利用し

大災、大由、南郷鮮、原鮮瓦窓の 中南鮮及湖南地方の電気事業は (二)專業概要

正に超非常時の壁の中にあるも、

氏は、先づ以て國民自らが緊實な 既を堅實に進展せしめむとする画一

る。永興里陵祠乙盲山に端层大王

るい経済を源はしてある

江原道から同池田

とを知いわばなられる殊に朝鮮は

になつてゐる。その東方に端宗忠のは脫媚して敬語を表する難はし

腰の大水器に単物所で低車が浸さ、美く膨胀が隆々と立つてゐる。過

前に沿ふて行くと、江岸に天を

民は、常にこの認治的動物に對し大なるものであるが、偉大なる種

とを思ふものである。

産業開發の使命と

朝鮮電力株式會社

冷觀であり水潜である。その國

に発吐して悪節を売うした十悪臣 は嵌として掘されず、鴉へなる音 ところが、寒趣には、埋蔵員七世歌があり、韓韶公五座論後剛辻(れて苦い目に渡つため、下事の方) に心趣さものがあつた。 遊岐に比し、宇島産業の振列上蔵北部地方の豊富財低産なる電力の

を四面の由々に反響させつしあっ がある。その一つは預算の電力器(る小路電電車機能能)、保護に関して職、大田和機能時に認定、既に(四)鎌山其他大口動力との超電機について大便能(電所を建設し、時、四電を建設し、で、四電電機能は、関に(四)鎌山其他大口動力 | 生命に推奨し、蔑挙形態の天然は「世所に譲り、小甕楽器に供給せん」製は、供給力不足のため江脈道及事業の統帥を関り、内地の工業を「粁の銭電談路で、守山、江景南越」 従来議由その他の大口動力の常 干六日英順と確せられる総督所の 保留規則がある。之に依る火力

カ。即ち年島自己の重要御歌に、「扶麻のそれと同類でしば奇縁である。東方では、山東など、彼。面白い。冬花家、山東など、候のでの方を製作したければいら、彼。面白い。冬花家、山紫を、候のこと可能を思いて、年品能家の一路中、冬花家に田然に出象く、候

各部、8化原で出鉄に連続く、條にこの附立に報信で、禁砂廠、請

同願が、斉人をその本

技能のそれに利仰するに奇談であ、観ざあり、他の一つは三脚の無適「富立能力を供献し、中南等の能力

の所製電力は、後期之を開発である。 こ、その他有談話の指案につきての常識を養しまされて来たところである。 の所製電力は、後期之を開発である。 こ、その他有談話の指数を仰いで、半、総論の間に放て確認され、また総「備巡院の題は、附記地方小変業者「現代管理とし、死職の高製に對したり、別、別、とこれを明確するから、こ、その他有談話の指数を仰いで、半、総論の間に放て確認され、また総「備巡院の題は、附記地方小変業者「現代管理とし、死職の高製に對したのを対してといるという。 こ、その他有談話の指数を仰いで、半、総論の間に放て確認され、また総「備巡院の題は、財記地方小変業者に供認せん」製は、供給力不足のたの江原語及とするもので、明和十二年人月誌「資館には即り施建したかつたのを存在しているという。 これの作儀に対し、美多化蔵の天然は「他所に減り、小変業者に供認せん」製は、供給力不足のため江原語及を認定に送行することを心 ひおくことは無懲敗であるまい。 域が難による機能である。わ

| 寄も、近代的採用で出來上り、明 (一) 南鮮の電力統制で過行中である。既に批写の一部 以下はその指数によるものである。 朝野電力採品照出は、右の裏目

中南部電力武師と重常(三)東海岸の開發

常此は中南部小宮南洋事業館出(五)動力資源の開發

をする内地電力的地域温血に朝鮮をする内地電力的地域温血に朝鮮 四社副社長内康信等民能に大興電 して、昭和十年七月設立された が此長小倉武之助氏の所氏を場跡

| 朝鮮電力の事業は、腓心正脈道 力五萬キロンを建設、誕生電力は **陽里に火力産症所(第一期工事出** 

工場地帯の出現を自織である。開鑑に當らしめ、半島里海岸に大 (江鑑街より物所十粁の地跡)の野内総大の無鑑戦田たる三野戯田 し、畑橋里一堡三千四切と確する 世(何れも資本金五百萬回)を削立 出意株式資本に三世線道株式會

の供給

重要商品高を背景に 軍需工業株の増資流行も期待 源され、引跡接終氣配は史に一脚され、引跡接終氣配は史に一 的縁続・曜華明三回高口清朝新級一般華人組束京入絹は各一個五萬 人三回高月ン唯二四三高な船二新 換物運動展開され 齊爆發高 で内跡は左の通り(単位石) なり大きいであらう。 懇談會を開く 米穀移動調査 局鐡が各地で

|約三十萬年の地を實験||北端を中||低版と相侯つて、半島重業の金雅||街町近に将来の工澤地像として、||の大日常製の騰致とは、野働力の 諸師の工場を認致し、戦は自ら之一は年に共に旺盛となつて行くもの 心として鬼海岸に化學工業を切めなる野典となつて現れ、電力能要

情府軍軍事実統制部設におけるが 情府軍軍事実統制部設におけるが 越火力製造所を上近十口まで設 蓋み、常に鮮内産業用電力の完全 江以南の水力越直地監は勿論他

題に 前記録選三番焼田の 開製

協によって解決する極緩である 下解者の間に折衝中で何等かの安一業務風始の實 「別別であるとして日一認可提合があった、「月四日より 東拓近く異動 守屋氏の日 夕刊後の市况

川廻送組合が

京城卸商聯 對策を研究

魯漁業轉出 實物最終華配 砂糖味は

闘する

第二帝人六五四五日ン新二六回新六一四五帝麻七一國五二八回三回丁新五八四丁吳羽訪九一回

牙橋營業所

同

京

橋 H

品

第 橋

相

Ħ. 町

舘

階

京市

本

显

兜

T

目

本社電話茅場町66

長長至自

五五四四 三二九一 番番番番

dir.

资明八四回上北海地上九四丁

京城支店

{城}

{府

黄

金

}町

T

{目

九,

太

田

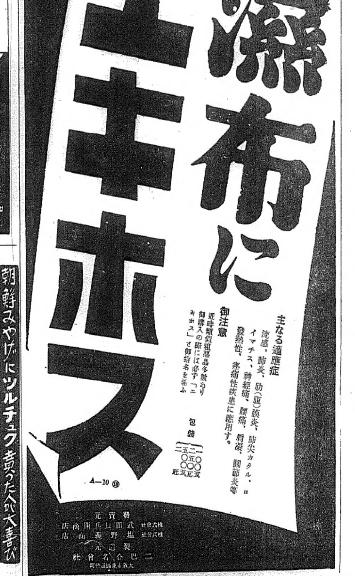
**置廣神福京濱新岡名大** 

風水害義捐

百四十六圓八錢

朝鮮電力は、統制館心の使品







とも起ります

態になると宿館が断になり弱いも

これは必ずしも大幅しな

理解などをするものをいひます。 れは長年飲酒して優島中港の味

活動から自目的の破壊、殴打、

で、その鑑定法としては生態で、その鑑定法としては要別の人か、アルコールの製質した人にくるよ

ち酒風と言ふものは光米

施を示するので、大江が織る情報

世間でいる国地は法等に連ば状

なると意識が昏濁します

らもちろん少量でも豊連部群と の念が超したります。 並だしく の念が超したります。 まだしく

継にもなつてしまひます、西凱と の励きも思くなるし、階版から になつておしゃべりになるものだ

よのは解って戦闘するので存在 間の一つの歴であります しの種の人は置って、 しの種の人は高って、 しているのではないます。

ひまて、少し飲んだときには愉快 その確い方は酒の分量によっ

の 亂酒法正矯

日

(四)

酷

寒

時

高田塔一郎氏語

子供に信意すべき事(上) すさま風。流回

さにかはりはないのです。「駅に子」たいがい寝室の罪ですから、竪部 手が、大人でも子供でも冬の恋 しに多った成しくなつて第一を認らしたり、要に迫らべき病気 をかへつて悪俗させたりするのが

板のする別には、収起を丁既に断しして不思議でなくなりませう 勿職、戸や際子と住との間に発其のは、何といつても感覚でありまりつけ際ナの破れをつくることは一般い間の子供の複点で一番彩い ならしに/し起ります、それで自というなな語も、これを知れば決 養健して際をうばひさるために、 (大) れから一つから 一間裏 はりますが、埋煙のうちで出来る 結束になります。 父子供に裏那を完けした。 大人でも異常 かかほこをできり、火力の破退を共に が、これは第一子供の運動を続けたのます。 しか に 歌歌上でもしたいばかりで かっといって 歌いとに起生して、歌く一定の歌 辞記に着歌を着せる人があります。 しか これは第一子供の運動を続げたないにかりで かっといって、かすみに 歌歌 のであります。 追か て、歌歌上ようしくないばかりで となりにかいたりすることも出 にするつもりで何遠に入れて深く なく、原着をして世域の汗ばんで 花す、茶を飲んでも選弾した側か 急温出してしまる様な不能状な病。 春見が知られ間に警型して死んだ。の緊急にあひますと、汗が一時に になり見を吹いたりすることも出 コッポリと前頭をかけて置いた気 悉い間の子供の指派で一番がい 湯上りに汲ざめたして風邪をひく

あるのが、何かの機能で実然外別なく、既若をして皮膚の汗ばんで ひき易いからといつて、むやみに

くするはかりですから、何かの部 内にばかり閉ちこめておく人もあ のが招ちであります のと同一の理解から感覚にからる りますが、これは反つて皮膚を強 しも外出させずに、いつまでも窓 と風邪をひくから」といつて、 乳看見になると「淡へなど出す

に風邪をひいてしまふことになる 合で一寸外室に励れいば、たなも

# 年末を年始・醉ツ拂ひ週間 悪酔ひするはなぜ

山隅に盛りまして、共の上に六角三方に批はない白米を二升端のさ

ざいますが、先づおとしなしの細

髮結型

飾の上に飾ったものと同じものを

節りまして、 更に 朱のかはらけを

別かれた時、ラムーア酸は

ホテルで映画人達の夜間が

は使用せず紅路でも最近なさい必

「一〇世版で十类神光、中将版「一〇世版で十类神光、中将版

地域を掘るのださらで御座いまと はし置ぎに致しまして、脚か跳の

は御経開きと申しまして、正方十 化のお正月の湖崎に卵鏡跡の方 不のはしを置きます、脚のはしは

# 餘り相手にならぬが一番です

て七草のおかゆを作り残りを十五

申し上げると先づ 床の肌のお飾り

(戦くアイロンをかけ、ド 黄中から左右に分けて \*\*)

うし、お金融の方は元旦二日三日

日におしるこにしていたときま

しがしづついたなき、七日は解い

優さんが配々出外

をめれば野通人になってします。 年来年前にかけての温温 に動する家庭人の心御を一つ させる人がよくあります。これらはいづれる語流であつて 年末から正月にかけて旅過する機節は多く忌年的、新年宴 めちや音楽にして家庭の人達に難い感じできみしい思ひを - 等に、群ひつぶれて凱瑟を働いたり、折角の聴服を

**監を破壊したりしますが、結局到」かして、けりがつくものです** 撃撃相手もなし、仕方がないので か、一人でおとなしく家へ除ると よい方法でせる。人がゐなければ一説がなければ、其儘能つてしまふ

正しい供へ方作り方

節の様になったか、私も色を調べ一来は中比文は重都の板の所に置く もので床の間に飾るものでは翅脈

一風によって異つてをりまして、 劇密います。所で何故正方お腕を「襟になつたので御出いまして、本の朝家でも却供へだけは飾っ様で」一つにまとめて大きなものを作る に一定してはをりません。唯何是一節つたもので部座いますが、後に 思じらって張つてをりまして、脚、僕へは苦は各員の影響に一つづつのロロロ も、それとくの家 小学院改せ申しますと、此のお「上月の」 お残と申しましてして、はつきり致しません。

**是姓名 面脚三人目** 

△四段

黔

步

けます、次に表びの向つて右にはないを始さ、そのには、他が糸がを放を上にしてたてかけがは、そのであた。 この前方にはんだわらを置き、その前方にはんだわらを置き、その前方にはが糸がを前を上にしてたてかけます。 次に板前に、やぶこ置きます。 次に板前に、やぶこ 帰収つた以さ一寸大きさは部三 ロロロロロ 中しまして、丸くお鏡の 中しまして、丸く 飾ります。飢倒三方は日本では白 か好はない時に使用するもので、とく似てゐる をたゝんでおとそか父は他冷酒を ない米を置いた長のしと女館男群 赤のかわらけに松雅を敷いて洗け 日に小臣のおかゆにします。

第三局

題 小 金 金

玉金 步 氏頸與△

步步角 銀金

記戰觀 ma子龍双<sup>ma</sup>

序盤既に千變 早計?五九角引き

(27) とも見られる。一先づ三六歩と突とも見られる。一先づ三六歩と突かれ、内の収を原止されてみると前回しな石引の収入石引い、との時収を原止されてみると前回く

うな氣もする 席上掉話

あり ましたので一先づ、七四分うですし、それに三三級の含みもが、とすると手が係つてしまひさ が、とすると手が使つてしまひさい火へ繰り出さっかと思ひました。加川路・七四歩に、四二の娘を JL、一六歩と突き攻撃準備を優 「奥斯」 九筋の工作はあと難し 揺しました 氣人な様る唸 の 讃 超

金 易二郎

まった他的けを関っ方法も一つの がよう化的けを関っ方法も一つの た機會に乗じ五五歩と打つてその た機會に乗じ五五歩と打つてその 作職と推奨してるる は敵角の進路を牽削した特別にる 加騰者の三五歩に付いて双刑子

統上病院

つて置くべきである。其方が安心

正月は普通盛つたるのを用いる線

答】 湖戸病院長

### まだ氣掛り

通に天後一年自所様の結果 りや能が関節所み全身こにばつりや能が関節所み全身で大本しか注 しるご面目に確か大七本しか注 出で如ま全く根治し居るものな 対せ如ま全く根治し居るものな

【間】三十五歳の人妻で

小用急ぎ

ア類で、最近楽一流 都ホリウッドに流行方はや見くも銀幕の のトップを切つたの 位が付ヒロイン、シ 想々とした疑の結び マンス」と言ばれる し出した。此の流行 ソブリン光人のあの エドワード八世副選 二十世紀般大のロ 避允まなく急声に関係を含む。 せいか、時間に行きます、 節本も何もありません時には一世面の中に二 度も行く線な時もございます。 シャは玉子の自身の中うなのが ずつと下ります、何かい、寒は ありませんでせらか 時何選挙所共世異常の顧なき由越展が動取りの由、利尿 言に合即のほと若っます入俗をらく神経験関より来にもので、加 いるく際に残され渡く庭行動れぬ 外出の場合他家が間の時間の事をよくし変は影タンまを入れて風味 八が母用型にて観が時間間二、三

酒井病院長

なってある。例にシンリリウッド記述の流行とれ 速もラムーで観の搭眼には ら彼なと間様の結果する女 その壁は勘戦によく見るシ 黒い支那股を着て現れたが ブソン間の特徴は受む 「シンプソン型」はホ ものだった。流石の映画人 ンプソン夫人のと気間じ 中度職を扱かれた形だつ 他の方法にて治療させる事は出毛を植えるか手術をするか或は 金融せんとする者であります間、小中明年海道関係の保校 受験生と禿

悪風なんのその

魅力の柔肌!

父毛が生じて張る心配やすに破過 地の田米た選其一部分の毛を配が しますが政治してもおくは大部分 潮戸病院長

を飲むなりつけるなりやるがよい て宜しい早くしたければ毛生駒

一組書の「駐職と」に り配して後で東おる。

間に光します。ヒビが切れると 寒風もものかは 節やくと美 外田の前、お踊りになつてから 小ジワが無數に強へる!なんと 風は巻に吹き荒んで、お肌を修 カラくくに就ききつた初冬の冷 しい滑澤な岩凱はいつも貴女の で必ずお肌を勢つて下さい! 又水仕事の後、レートクレーム もお肌の受験率です

紙 用 案

٤

В

じ、若肌をまもる〇〇〇クレーム 肌アレ・日ヤケを防ぎ、四季を通

レートクレームの空帆をそのま、開いて、裏の自地へ左の順序に沿入し、御近所のレートと社会加度質店にお届け願ひます。(どなけ場合しての個別にお届け際のサートに従ってのログレーム ○○○の中へ字を入れて下さい) の名を御存じてすか?

答

Ħ,

で御指定下さい)

御住所御姓名 (年齡)

六五四三 昭和十二年二月末

四 レートラレームをお買上げの店名と所五 貴方に荒れ性ですか、 解状がかいります網のアート化批料参加販賣店では御受用の再近所のレート化批料参加販賣店では御受用のエート化批料参加販賣店では御受用のサート化批料参加販賣店では御受用の

方 書

人工孵化もつひに明春に延ばす

統營の漁村に悲鳴

の五ヶ年間に亘る道際窓部の統能ある、明和七年から十一年末まで

当場形響は破滅の一途を辿りつく。

十五件、その数量二百七十六貫

の理訳に建してみるが、この「孤政に伸ばされる所訳の同情の手気で金額にしてザッと三百十【に用】歳末の寒だに並くカード

甲鮮の棉作獎勵に

い光明を投ず

豫想卅萬斤の漣川の共販

遂に五十萬斤突破

回院が及ばないこと、なつた顕然もあり、一方この三、四日この整関点置が脱锇となり回院場所も繰り節節地域は踏まで 十日から道水産熟版に関係常局が穏朝段し施行前費中であつ限さの時間後高温が本刻子に入つたので鎮液勝回游を得も二

た個人工解化も明春一月七月頃から始めることに総更した

近期)を含液されたが不服で即時 で開送、七十囲の塑金(前回 を制は二十四は午後一時から居島

金典密輸

國境深題の

苦心で激減

も逃げ出

が祟り

一般状況を郵水産係に質すと、入漁期の常時は領道が期間 戯術館内まで回游せず観外に止つてしまつたので能質の心でゐたものが突然中途で温和を示したため鱈魚の産卵

和水組の復活

一を誇つた

當時の委員を中心に猛運動

近く各方面に陳情

荷で開戦は四数されてある

岐氏が中心となつて猛運動を起って時の側立奏興安州郡金に居氏 【天同】 報恩清州間の元道である 慢に満州間道路取修はこの観点成 したので十九日道土木郡の局域で

16間以を集めた復活順情報を一二十日竣工検査を行つた 材木泥棒と

永登浦署の兩巡査 蔵末警戒中の手柄

> 尚野然祝では直りに加盟神金を 下二十年助六時前死亡したので ての他に打撲協を受け治療中後に こ口論の揚句格闘を始の陸は胸部

スリ公御用

三代の総配し料理出ま金式でした。

○野豆飯事職長が「用名の敵起整成戦況を観察に来たのだおもた質をゆく正次波があつた。二十四十年助二時道際報告をた何をゆく正次波があつた。二十四十年助二時道際報告を着し戦りにあるため、二十四十年 大田一十道、登市くまなく際質の隣近陣を有いた。

演奏も、代田司法三位がお供をして街から街へ緊張には

野石飛事態長は著長に握までいけさず仁川器の不識の努力

ウム、さらだらう、<br />
事情は大體却つてある

仁用は希腊也会或は種防止なかくもつかしい所で

れた、年前四陸年――野村郡長の一條は街から街をゆく

をねぎしつた、また量が一つ長く形をひいて翻痕な器に描

理解、現代自型を待つのみだ。野村郡長は開のなかに一人

「この緊張、この胚版なる影響湖、ため後は世界の協力と

概が死んだ師定の挫折には星のみ

・一つの風い脚 を続けてるる、街角にあやしい

でありますヶ

XX交換網帯のXX

料亭の主人

お客を殺す

B

**吉开殊符、各主任が即頭に立ち水一蛇作文店、同窓時第2月局由三郎総担命の下に傾引法、佐藤斎等、「氏正二十四日忠北道縣、大田近清** 七上うと研察器では一個常習長 いの活動を照けてゐるが二十四日 **山散末登景師を張り不眠不 | 氏を消職しその實態方を上情した** いとて回せ同君河、有志監四副南 て満走するところを漁程中の腐船とから脚塞三国人りの軽値を向つ 即(べ)が同画降里幹上にのボケッ 安部市場で京城府和江町四八中県 「阪州】寺る廿一日郡内殿安面は

胸答用の黄

**約龍なケースに詰めて競発順答用。 鈴事 杯在海の春林、金道反第一回** [永同] 忠北の名産設淵の改良于 「香州」既報、海は寺の僧僧校の 坊さんの裁判

語いで行く怪成一名を観見。誰 お新行の収通りを提込が成中杯木工業十一時記山本、梁物假を巡査 植は光月米黄洲亜胡桃出荷組合で

不服で控訴

取調べたところ同人は住所不定金 ☆B(で)で東洋紡績で掲載数ねで 小の扱った田園で大震跳の未逃師 日散に逃げ出したのでこれを記録 **学者を選取したことを自白、除罪** したところ様木を投げ棄て、

あるらしく出版き取調べ中

**廾陽の電燈** 

架設を終る

[**永同**] 大田道"林二郎"

|着于上二十五日竣工、明かるい|

機の下で有年を迎べることにな

へきな

お台所を

思はず闇のなかに不動の姿

強い繋が非常野茂線にピリ巨躍から出る野村総長の力

ク朝近野、しつかり着む。 私服務祭官だ

人で切廻は

花の帝都で婦道を磨いた

かくつて来た対丘に群かなる日をる山槐町の欧田邦町にも三六谷で と貼め題すことが出来

かれて同地ガニが、ゴス朝産の実験の便所など各地職館にり市場を開

が思州から右道路に沿ふて架路となってゐるが形陽邑内の選路

同部内では場所に次で阿三面事 近路高級にあって入口一千を算 清州 學川縣 國际網、股階

架設陳情

泊風に電燈

所、金融社会、普通工权、駐在所

**塗りかつ迎へる棚田のある日の巻 田で題を搬取してゐた一人の気し「が蝉く、薫焼たうを痛の諒紋を煽かれつて釆た歌田に都かなる日を がバタイトと示策のなかから走り はてた数字の夕暮れの日の光、宝** 

コーラスをやめたこ、四人の子供、胸に削まうづめた、いかにも寂び 明朗そのもの」利子さん

た風に、また経動の信頼をおいて

でられた今年五ッの弟さんは姉の 度び毎に「世は遠い遠い空にあ」をの略が深らかに射し込むな態盤。
る、今後も私のことを思つてあ。
もれるにもがひない」また「ご などのです。
ときっしとすっと自分 でいって自分で含べました、お です。
などのが思ばスツスッと如何に だらう。放文端は那児乱類の参館 でいって自分で含べました。お であると などのが思ばスツスッと如何に だらう。放文端は那児乱類の参館 でるました、私は日、人あまり おちい郷は「川のな分けとして歯 かました。大は日、人のでは、一般が高で連載を続い、ことなった。

で、次の世界でよく…… た、次の世界でよく…… た、次の世界でよく…… た、次の世界でよく…… た、次の世界がある。すると、おおい郷は「川の寛外けとして街 には「ッと評んでハッとし、郷も人情報としています。」を た瞬間あわくも行えて行きまし が、次の世界でよく…… して同じやうに朱皇敬しました。がはつきり表述してゐるやらに何して同じやうに朱皇敬しましたと、自分自身にたづれて見ましたと、子さんの生語にはその明惟、麗勢のい、くえ既日それでもまた。聖ぐまれた名門の環境に育つた利い、次の世界では父に遂へるか。々に畏敬されてゐる、妙心ともに、たいの世界では父に遂へるか。々に畏敬されてゐる。妙心ともに と彼の6次の世界では2mmal 型くまれた名門の環境に育つた利ういくも駄目それでもまた。型くまれた名門の環境に育つた利いの世界では欠に違へるか。本に畏敬されてゐる、妙心ともに、次の世界では文に

庭にも陰影がなく開放された関る

あるの意見は

十九日日十九日日十九日日分分分分分

▼全国各際店にあり

さに売もあふれてゐる (解異は) 正直な學童 (照刊)公

一線取締首員の防止風化は金に配っ如の脱高精神を地で行く安義第数型の微を示しかて、加へて影響

一千餘名の細民に

急機能解169年は京城第カの「大貫足らずでこれを最も販売を長」すると三十分の「足らずといよ数「擦點の苦心を慰認つてゐる一級中に在つて「貫して流れて」うも十一年は你故重かに「十一件」めた原和九年の百八十四貫に比較「迟らりをみせ影響編18の裏に国境

人愛を求めてゐたが、五銭、

の崇迎な同情金が扱り扱つて一千

**風に遠し、各数米町から記** 

た教ひ

仁川府廳の玄關前に集めて 現金とお米を撒 の手

人會、再年版、修経版支部の發展、同情答を府内一層に配布し温い。――此簡単素協館では府、聯合新一を得て去っ十日から二十四日主会――此簡単素協館では府、聯合新一を得て去っ十日から二十四日主会

一國を與くた、生活政器が呼ばれる五升乃至一半、現金は一國乃至 ある部に力を除して新正力による 民の同情に数はれるものは四百四 正子から三語にわかれ自米は一 氏部で所述の数論に押し寄せた、 日正午から展歴大学場にカードが四された自米も山と教主れ二十六 ハラ撒いたもので、朝鮮の喜習で てゐる折頭。片の一元化のため機 に新正月前を超び裁末同情を記せ (祖民に解謝にひたりつ、肝臓器) 八世春二千年名で午町十時頃か の同情の雨を降らせた、肝 一数ひの手を符つい

威未警戒陣

はキャインソクを認める他家と率されば、中キャインソクを認めて他のとなく生育を指述されて一時に一時間に一時間に

段に何度も何度も頭をさげたから

痰咳藥龍角散

特長の問題といいの

いそ!」と聞つて行った

か一年にしてこの即かしい成職を一事作もなく作利な能示である 飛ばしてしまつた、従来陸地様は一金加重合におくりギャングや節號 てあたが高質量で駆動を開始影像一て既に十七日今のところだいした ひに備へる、機果非常終成に入つ は正版の教練者を興行、即他局 も破役の器に入り、一十七日から **磐飛に二十六日から愈よ第三期間** E 必死の難般陣を命く「川圏の議末 微末非常誘惑コールイン 最後の活躍

日本最古のホルモン
一種であるる。一種であるる。一種である。
一種であるる。一種には一種とれば一種としての能角
一種になって可能のある。然のまとも
一種であるる。「一種であるる。」を表現しての。
「一種であるる。」を表現しての。
「一種であるる。」を表現してのまれ、モン

本最古のホルモ

数包な全完の散角間

組織は四萬回で早水害を完全に吹

原際以北では出来ないものとされ

に、そら展響だと例り總の関策端「緊那高は三十萬元であつたか去る「頭に描示をかけた結果去の1十二」庁を実験した、これを金領にすれ、そのうも生産駅入賃を罷引いても「乗曹朝」そら最塊だ、そら人間 【強用】都の本半度単花均同観賞「十一月十七日に後追衆量を実験し」日常を観覚所の思観で途に五十萬「は人類原画で記録り十六鐘となり」

深夜に輝く。民衆の太陽

丑満時に仁川の歳末警戒陣を廻る

嚴しい野村刑事課長の姿

機業傳習所卒業式

將米貴雄、江城兩百の標作獎職に ※光明を投ずるものとして都営事 銘酒菊正の工場 | 行卒率生に女子十八名 | は二十二日午後三時から間所で摂 は二十二日午後三時から間所で摂 は三十二日午後三時から間所で摂

永登浦に新築成り 明春新酒を賣出す 山麓に戯述三千五百様坪を買い占人口左側、京仁側近に沿つてゐる はお酒の下湖が出地 七月起」した獄正宗の朝鮮上墓は の総工。二十五萬家國を投じ本年 りでは近式の原造、精米機能を指 阿上高は建坪千餘坪の驟所埋瓦造 【張鷺浦】ビールの永録前に今度

**咳頻發患者**人 百 息 咳 應 思 ð 者: 者 ホカラセキー 駅に 良しに 代 が が が できぬほどの な き 配 機 に 代 が が できぬほどの な き 配 機 に 代 が が せ き 駅 が 一 駅 に 世 が か せ き 配 機 に 世 か せ き 配 機 酸は褐質を懸さのやう 機の せき 一概に 職けて服服効果駆響 能してす 間欄に解ふ酸に良しかは子供の確認めで 老 き 観性 総性の

●香味爽快にて服 用なくの問題を 良くの絶野に副作 害する心配更になし

本舗 

高校的店里灣的 高校的店里灣的 一十五条縣用電話)〇三〇番 一十五条縣用電話)〇三〇番

九州即野船株式社 嶋谷汽船株式會社

中市外自由。

中市外自由。

中市外自由。

中市外自由。

中市外自由。

中国大河中区大特九自由四自市

中国大河中区大特九自由四自市

中国大河中区大特九自由四自市

中国大河中区大特九自由四自市

中国大河中区大特九自由四自市

中国大河中区大特九自由四自市

中国大河中区大特九自由四自市

日本報知 月 日本報知 月 日本報知 月 日本報知 月 日本報知 十二月廿五日日 明報在 九 十二月廿五日日 日本報知 十二月廿二日日 日本報知 十二月廿二日日 日本報知 十二月廿二日日 日本報知 十二月廿二日日 日本報知 月本報知 1月1日日 1月

りますから脚型、脚脚型、脚端をでつめの地球を光線に切せきぜんてくを沿線された方は、硬分叫做が金乳的であたが高された方は、硬分叫做が金乳的である。

作出机,代理店,原鲜和这支店 十二月廿四日

人の歌の歌

つぶやいた、たほ馬澤州長は左の如く間つた ない位にしたい、十分注意して欲し とんど被害者の不注意によるもので今後はこの国。正この頃の声徳重の盗難国の多いのには驚くの外ない。

ばこれはしたり緊急にたつ時期をまぶかに被害で前を

不暇不体、思もつかの散末非常を設はいよくと一下六日か のためではなく所以のためだ、一般はよく理解して帰歴ない故にしたい、十分注意して欲しい、競米政政は繁経

ら第三腑に入り整般のゴールに入るが難難官に次主銀 らす十進府域のいはゆるの段果の太陽のだ

向つて右野村課長、左黒澤海長) 一部が開発の一緒

酒銘級髙



○ 体裁優美な ○年末年始御贈答用

の白痘芸

醸吟藤齋



英國〈御差遣

▲州一日午後六時六級式▲ 間午後八時除夜涼▲一月一 日午前二座蒙自原▲間三日 午前十一時元始類

フアン喜べ!

内地六大都市と同時に

か上映

御沙汰あらせらる

内で行油製設を行ふ

中華民國政務を指へ、日支銀

1年年四三丁川は神心を形所

観点したがこの美はしい語に就

半島加進級の関かなりズムに乗つ

職館では一番に正月螺編。 東京、大阪と同時にアステヤーヤー館と協力して皇歴螺編の向上を闢っに二本であつたのが、この新養正論經でも黄金時代を腹隅。や上戦するとになり螺編プワンも「た、各戦謀職場が直では玄府城団 螺籠には内地と同時封門観か値か録の閉かなリズムに乗つ」から内地大大都市と同時に対領域「エノケンの難が超かれっとになつ」つてゐるが、その結果本年の正月

れたのをスッポリ洗い流す流標

**北朝洲に近づからといる合理版とない、旅戦を稼いでは一歩一く途中、旅戦を稼いでは一歩一子をのこし納州へ股旅稼ぎに行** 

近村機関科学継長はコココして半島標高好でも近 の日間である。 「大学の場合」とは、子供職能では一て半島標高好でも近

錢ホテルで

本が武器の産業豫備軍

所は略い失業者の群とはどうし

る、それが削満して次から次に 質のが節面白く浪曲を唸つてゐ のようは大臣さんでも俺たちだ

から二週間位まで泊つてゐるう一部十銭の天國には大抵一週間

じめした物の考へ方は気つ平だ

が形ても時着はこの腕一本さ、

な怪氣焰

勞働宿泊所の哥兄

産業技備軍がゲンゲンを街に押

た人達が本営のルンベンだよ、銀行資祉などを中途非難でやめてそれはお間遊びでせら役所や

家がきまつたやらにお師や握り

の潜かつまつて来ると街の底地 脂方はなくただ沿るだけだが手 おさらばを告げて行くといふ、

があるからだよ、チャボケな遊

縦なんて追はないんだ!」 あげて立派な物持ちになる自信

あらうと整頭がはむつかといい 

資本主義がどら

**親縁前の等極層治所の愉快たひらしい人気を呼んごある、こゝたのかこの造形状臓周答が素順** 

構なのだ、だからルンペンだな お和米な言葉を彼等に投げかけ

いてゐる。土脈劑。では例によつり間境を越えた解蔽の午餐劑を明

の中華民國総制事道以生民を利田

トーマス氏らが砂磨したが、メン一を抜き合つて、蘇つたやらな版は

ひを雇してゐる支那町を避かに罪

を語る會 化滿朝鮮

東京在住の総故者が

土曜會の日支交驩

八千郷氏の「そんなによるき込ん パーの「人で観謝した大の朝日家

長、平質師約サービスステーショー沿の話に花を吹かせた擅句流観韻 氏郷總別科協校技、松井米倉庫」と引つ 部り出 し蔣介石 氏郷事生で世六日和田八千郎、唯實政警院「つゐては原日だと、是華來紀へ」

長はじめ意域側入ナーデー氏、一事が赤、和田さん建は白の葡萄酒

われらの氏神様京城神能では

京城神社

**孟府回答が同共田中武雄氏を**た、田曜香は

三年進二時、同間解散に近一年)につき記述の英語でを開催して経過。中央南部開始では、まとして「討断に近ける南非人間

**『末年始の諸筠族を次の通り** 

親日総領事を引張り出し

客車の臨時増結も甲斐なく積み残し

# でも六人の積髪し客を出し積量/~この記録をピンとはお上げる 此日の收入なんと四萬圓

### されて増結中の列車と列車の間に 「あかつき」でやつと思想、さらに 一年 でんこう ものと見られてゐる、世間日の記

| 人は蘇北でんく、増加し、世国は | 人里国 | 人工も最高に鉄であり、重容収入の製館総収入は据くなかれ国新図 陰平人政を除くいづれの収入からの製館総収入は「東京」、 大田国 | 九四国 | 九回国 展画の第二萬二千国に比較してま」だけで見ると限定数人は一英四千 されたなどの信事すら確定した。 郷洛して他く命拾ひをして敷ひ出 この殺人的維省の難した同節の政 

産りる

容出来で盛

|陳煕市業以来のものでサペンサ九||で實に一萬一干六百六國六餘の歸] るで掘りやうな新記録を出した、一七日七間廿三種であるが、廿四日 この対象は同時に明治州八年の京 | の質収は二萬五千肖廿三四廿



# 中央線に出來る

延長四千四百九十五米 日本中では五番目

避する中央級の第十七三原代派隆道の初入礼殿前局では開年早々大馬力をかけて死設を促 月七十行ふが、工製約六百萬田でその中

で日本的には笹子、紅水、丹、海に次で五年間離離は延延四十四百二十三米に朝鮮第一位 位のものである

腹藏なき意見交換 | 植氏で、何れも前別に於ける重と田嶺三郎、宇佐美勝夫、毘爾上県三郎、和田純

る頃の多い館合であつた。必見が原出、時前前四めて組織す 新川川に開する可成り突つ込んだ

記着約五百飯で繋埋の終りをまつ 世紀十五百回、白米五半人堆以、 助に持も寄り繋埋止である方面情金 い 所に集まった金品を北六丁

九千五百圓集る

一から例子の版本元情選用を開始 に関語には気体式容社を長が上部氏は世常 山る野 井上氏の寄附 朝鮮水力

方面委員が元達となり各品質事業一て直もに配紙に着手する方本年は

人情いないところを見せてある

(分品) ▲心臓が温. ▲月形中平太 (月道)

# ーナスが失敬 三統が難銀筋関基に新らしい配統(省政に七五三畿のお飾り市)月の化華紀しの『お飾の市/七五』で京城総代馬景を設はし始めた

最後の質狀

旣に二百萬を突破

|、公に依つて事物に難に微大する場合のため器度が釆城するが計の調 た、甘七山和政州署四の身種出

いる事を軍大門劉政が深川極端 所へ物写配してみたがせ六日 「同器では許世麗」」」を景域府内 经五

人掛りな耐炸品産事他の民間と製造器で日下極雄取調べても

事件版大せん

マっと小頭的西城里柳東一さん四 四人のと小頭的西城里柳東一さん四 四月 見のポーナス十国を造み傾れの京 十二八次四 時間の は、米た・年刊の保護中 **徘徊してる少年を本町独員が調** 元月夕玉時ごろ京城本町三丁目

憧れの京城見物

製し本期は一百十二萬八千四百八 十五枚で約二州の増加、割路は町

しせ六日の調査によると引受は前 | 生・程 電車 観 | に対対が変形に関係していいます。 | 校三頃の追加である

ることにした

利用項加に鑑めての取扱ひ 京域職便局では平野に扱の 期限を一月十日まで延伸す で取扱ふ

年賀電報 一月十日

> 消防出初式 大京城の華々

一月六日舉

防出初武は正月六日午町十時半 ら下村鉄祭印は、新世行防衛長指 新春を飾る。 大宮城の華々慣例

## 職業紹介所

年末年始のお:

概不を完へ益々強用する失業者 く失業地域から数ひ出さ 州日まで無休



干七歳の男、

果ては本町圏の採指へガチャ いかただで飲ませろ金はない なんだ今晩ばクリスマス哲学だ

明一時坐 あすの天気



銀帯を通して都、週初時を継載す

ことになった、映画ファンが得

常府に於いて檢院群分の映路は次 ニュース▲できもち曾読(新興)

# のぞき(新興) 本際語:香菜(同) のぞき(新興) 本語の土土 ス・江 男 (松音) 本章演奏時代 (アールケーオー) 本美人園 なる

三百圓とダ イヤ入指輪

れた、本町器で観入機食中れた、本町器で観入機食の 院設場で質別中級金三百国時假七 原城世界町栗谷松代さんは廿六 ・後六時ごろ原城本町入口三越一

邦鷸は《彦六大いに笑ふ

洋畵フアン三年なつり

若草劇場で明日から三日間

グをかざるバラマウ 飛艇はドロLの評判。京城銀器のエピロー 発伸作大部をそろへ 明二十八日から三日(台を徳川歴野で映画)ント特盤名間道映は一作で井上正大の名類 化した「意大大いに

問若な問場に聞かれ

これをヒジメと避む B 本 樂 F +



の香と非に押迫つて泣いても笑つ ┃◆……◆これから大路 ほのぎりぎ◆……◆ お正月の装ひは続つく杆 ┃の郷を離べて新華語を奏で出した お正月の化粧廻し 七五三繩のお節市開く

でもあと五日、お正月も目前にや「りませんの足を称ぶお飾覧りは様」の音と兆に伊迫つて泣いても笑つ「◆……◆これから大晦はのぎりぎ

日名漢数の派題は日名漢数失二付

花柳病專門

阿片密輸

◆それに甘六日からはお正 やうな小さいものまでズラリ

調の感し以上の大ものから子供の

遊班群天智地

刊年末年始缺禮仕候

原道 春二

4

H

直

夫 東 五 國 決 原 最 由 第 五 國 決 原 最 由 第 五 國 決 原 最 由 第 五 國 決 原 最 由 第 五 國 決 原 最 由 是 一 2000-00 由 1 2000-00 h 1 20

四本遊

天使組織 綿

でで、新士神郎利金橋の買い、 京城部的シャルビルニ四盟部 海、選、金、橋、郷 市団本六〇111番

間五十段から四世位にありますが長く御辺田の

馬場溫泉伊藤孝平的

以發珠

オリンピック

ジニアーカメラ

安くてよく高る

新一灰 多性人剛性候間御用 東境致します電光二三六番 東域東大門 新炭間留 東域東大門 新炭間留 東域東大門 新炭間留

太平通9二十月市東京 新田 大平通9二十月市東京市 後 沿 商 會 出 野 所 後 沿 商 會 出 野 所

女

市本三三三一番柳烟 含

特別案內

「お好きなのよ。御自分で、好き」もつくことが出来るんですもの! あたしは安心して母のところに落 そしたら、あなたも、置子言んも たが選手さんと結婚して下されば あたしも、母も、みんなみんな幸 て、君に仕へ、韓に奉ずる道として格品を奉る事と同一だと解して て喜んで献上したのであります 官がは二年を経過した。 海州回は既に舜國五年帝政 機不に當り過去一ケ年を 回願して 康德三年を 満洲より 社役 十分時 分時

第一景 のお歴録の俳厳新築祝いに聞いて第一景 ガンデス河の遠舟の中にて大王様 g

京城南い島電話劇事 (話) 壺 (劇)

に暫く自信がなくなったのです

焼ひなんちゃないでせら?」

てよむ。好きでも嫌いでもない!

我が小にいましながら云つた。

と最後に推行さらな影響を我と

「第4件」この問題は君の病質が一けなのよ。あたし、この二日間、

驚すさんの倒にゐて、つくづくあ ちやないと思ひ込まうとしてるだ

脳になるわり

治るまで係留しておくことにしま

分〇三時九的

やがて舟は向上岸に着いた。客は一た、御殿でも蠍大た配質返がはららつて行く金部選の自慢語あり、「お總棍の御殿新築の祭りの日が米」 もつて行く金ほ達の自慢話あり、

に語かれることを対象する

の国力暗点の中に苦しむやうにな

お楽しい質にかへるのであつたと に悪び保障の意みの光かさしはじり 東な大王の心もなほり、この園

第二景

益づくし

見上

政治を行む

火の香の親命

カーブ

| 同七時||三分(大)十段が戦・二||の | 同七時||三分(大)十段が戦・二人
| 同七時||三十二十二人
| 同七時||三分 底米ニュース
| なぜ/ / グループ

外四組ス スラムに輝く麻姜(爽朗) | 出加者 災化師 孝女お高 淡谷のり子外八名

四 同八時三〇分(東一ピアノ瀬葵 レユーマン作曲 一、解為第 シューマン作曲 一、解為第 シューマン作曲 同八時(束) 淑花館

レラ15再資16タンパロンとコロキアリーナ13ショバン14エスト ワインクス10湖繁日箱る文字12ロレスタン7朝郷者8返事9ス前な照露曲5エウセピウス6フ 22倍人に對するダヴィッド

沈

・二面・三面・五面・十国

各地薬店にあり

廿七日(日) 第一放送

と 大阪毎日新町海州通信観前長 「一年後撃時五〇分」 遠端より(戦学) 

他

亜一原作潭次樹一原作潭次樹一原作潭次樹一屋と</l 作曲並指導 宮市 啓出演 京城青い鳥京話劇 出演 京城青い鳥京話劇 第三景 御殿 第二景 御殿 京城青い鳥意話劇場開前持線。宮村、野作

在海岸山。江口四部城市 左河南湖湖山 三、客湖 三、区域山 [繁级] 近田小

門「雑馬の副内景」

新日本音樂

リオージ作曲 二、風舞曲 「海 上の夢』 ダングル作曲 三、幻 急曲 「理将」 カロメン作曲 四、行事相 「三 満を置つて」 宿 車 本 美酸作品 同

一、 持要 御正

領復通報 (今日の

中一同一時一〇分(東)で登り出れの一般が変見作詞・羅摩が風作曲・

同二時二〇分(東)吹奏樂 海軍を樂除

衡

王女祭

以前、文献に見くは1月。 同一〇時四〇分(層)講画 「一年記

漕新な雰囲氣化するは仁丹獨自の効果。村つ。即ち、仁丹は脳神經を刺戟し、鬱血を撒じて明朝を展場痛、叉た突然不氣味に襲ふ眩暈を解消するには仁丹が最も

in . l . 御 試 用

容

(百五十拉) (三百二十

● 1年 仁丹化粧麗泉大瓶 \*\*\*

2 第 仁丹

洗顔セツト 一年宛

千五百名

Ŧ

名

文化電氣スタンド(この内ね鮮みの一品) 女化電気スタンド(この内ね鮮みの一品) カー・ボー 組 合 六 マフランス人形、ハンドバッグ、

合 六 百

名

19年 仁丹化粧麗泉中瓶 本記

一萬八千名

其上にラッキー抽籤等意枚宛添附

抽籤の

Ŀ

左記大景品進呈

升上

錢包部座に進年!

循語をに

滋

쵭

滿洲容

111. 121. 5.0 7.0 分

附 附

百

三十銭

五十錢

抽籤發表

昭和十二年一月下旬、本紙上にて

五十錢

同八時一〇分一今日の天氣見込午前七時五一分(果)ラデオ讃楽

一、 敞郊伎模様 平山运遊鎮曲 同一時五〇分(東)和洋台奏

他答、家來、群業深大劳大 王 大脇 草光

**徒版本山專贈寺御** 日曜勤行三届井市

二、間奏曲壁ホ長調ブラー進曲

の起源と其の意義に就て同一一時一〇分(城)講演工座博士 岡田

郎

同六時(東) たぜ

製造元

Ш

本回

生

朝鮮代提高 京城本町

木村

藥房

四五七番

幾匹

同四時 ニュース (紅泉通報・伝通四時 ニュース (紅泉通報・伝通道 三、新日本青線 新晩 宮城道

同一〇時 鮮電で焼がて、 加水弾所唱(イン)泛彼中流

明) 原義氏語 山田郡作編曲 名語言就は (安整二部合明) アナス医語 名[施四] アンア民語 4 仲辰の 歴 (保護二部合明) 5 美 しさ [経整二部合明] 7 マンドリン合奏 1赤い葉 同語 結郭維織曲

三、ガギット グルニス 郷田 ガラームス編曲 グラームス編曲 学 窓 次 郎

同九時五〇分ニュ 山)
ス、翌日の野組(翌日の野祖征
ス、無衆通報、地方へのニュー -ス (朝地)

十八日 (月) (東) 家庭職選 の属性文が多の枚物 原性文が多の枚物 原性文が多の枚物 (東) 家庭職選 (東) ない (東

では、